# 社会福祉協議会での 実習の学び

4組 岡崎クラス



1

実習を通して、SWの仲介機能と組織化機能について学んだ。

#### <u>仲介機能</u>

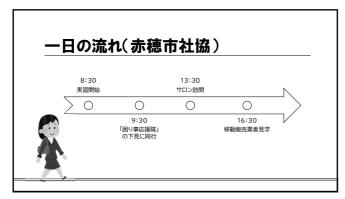
→CLとそのニーズに応じた適切な社会資源との間を媒介し結びつける

組織化機能
→SWerが地域における住民の組織化や家族会などの当事者の会の形成を促す

2

### 実習先一覧

- 兵庫県 赤穂市社会福祉協議会 (神吉)
  - 太子町社会福祉協議会(松本)
  - 養父市社会福祉協議会 (河戸)
- 岡山県 高梁市社会福祉協議会 (青井)
- 京都府 舞鶴市社会福祉協議会 (青木) • 三重県 鈴鹿市社会福祉協議会 (島袋)



## サロンの様子





### 

#### 当事者の会に参加して

- ・当事者やその家族の方々の声→人と話すことの楽しさ、居場所がある実感
- ・当事者同士のつながり、さまざまな経験
- →自己実現のきっかけ
- ・ボランティア
- →相互の役割



#### グラウンドゴルフ

- 外に出るきっかけ→独居の方も交流の場となり居場所づくりにつながる
- コミュニティ参加する
- →安否確認
- 活動を通して生きがいを感じる



8

#### 事例を通して

ソーシャルワーカーが地域における当事者の会 の形成を促す(組織化機能)



人との関わり・居場所づくりのきっかけ



地域共生社会の実現



#### 災害ボランティアに参加

主な流れ

ニーズ調査

資材・機材の準備(スコップ・土嚢袋等)

ボランティア受け入れ対応(電話対応等)

Û

支援を必要としている人とボランティアをつなげる

災害ボランティアに参加



10

#### 事例を通して

- ・直接現場に出向き、住民に話を聞く
- →被害の大きさを知ることでボランティアで賄えるかの見極 め、必要な機材などを社協が判断する
- ニーズを把握しボランティアを募る役割
- →電話やHPを用いて迅速な支援につなげる



11

#### 結論

- ・ <u>地域に出向く前に、その地域について知る</u> →事前学習を通して地域の特性や実習先社協の事業について学んでおく
- ・地域の現状を把握することで新たなニーズが浮かび上がる ⇒市役所、ボラセン等との連携により、個人やその地域のニーズに応じた 適切な社会資源との間を結びつける
- 地域コミュニティがあることの大切さ
- →社協はそのコミュニティの形成を促す役割を担っている
- →そのためには、社協側から地域に出向くことも大切



ご清聴ありがとうございました	